図書館だより　　ビーク

ビタミンBook

5月

2号

発行：笠田高等学校図書館　　2025.5

一気に新緑が眩しい季節になりました。深呼吸をして思いっきり空気を吸い込みたくなります。「フィトンチッド」という物質が森林から発せられているそうです。「フィトンチッド」には抗菌、防虫、消臭などさまざまな効果があるのではと言われています。新緑の季節、深呼吸をして、心身をリラックスさせてください。

図書館には「図書館の自由に関する宣言」があります。1954 年に日本図書館協会の総会で採択された宣言です。1979 年には改訂が採択されました。

図書館はあなたが読んだ本や図書館で借りた本を他の人に漏らすことはしません。

（図書館の自由に関する宣言）
図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

第 1 図書館は資料収集の自由を有する
第 2 図書館は資料提供の自由を有する
第 3 図書館は利用者の秘密を守る
第 4 図書館はすべての検閲に反対する

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

1979. 5. 30　日本図書館協会総会決議

☆★全校一斉購入希望調査が始まりました★☆

図書館で購入してほしい本がありましたら、リクエスト用紙に書名や著者名などを記入して、図書館カウンターまで持って来て下さい。

★☆朝の読書が始まりました

各自、用意してきた本をぜひ読書しましょう。
朝のほんの10分間、本を読むことでざわざわしていた気持ちが落ち着きます。

『戦場の秘密図書館』
～シリアに残された希望～
ﾏｲｸ･ﾄﾑｿﾝ(著)/小国綾子(編訳)
本を読むことの大切さを改めて考えさせられる本です。【016.29】

『図書館戦争シリーズ1～6』
有川浩(著)
「正化31年」という架空の年号の時代、「メディア良化法」という名の法律が施行された。
　主人公の郁が司書をめざしたきっかけは･･･。　【913.6】

『夢見る帝国図書館』
中島京子(著)
上野公園のベンチで出会った喜和子さんが、作家のわたしに「図書館が主人公の小説」を書いてと持ちかけてきた。　【913.6】

♪♪新しく図書館に入った本♪♪

（岩波ブックレット 1107）
『性格診断ブームを問う
～心理学からの警鐘～』
ネット上の質問に答えるだけで人の性格を 16 タイプ分けする〈MBTI もどき〉検査が流行している。【141.939】

『恋とか愛とかやさしさなら』
一穂ミチ(著)
プロポーズされた翌日、恋人が盗撮で捕まった。 【913.6】

『アルプスの席の母』
早見和真(著)
8 月 15 日、午後 1 時―。
阪神甲子園の一塁アルプス席。延長 11 回の表、4対4。
ベンチから「18」の背番号をつけた航太郎が飛び出してきた。 【913.6】

意外と多いかも‥
文房具大好きなひと
こんな本どうですか

『増補。新装版 筆箱採集帳』
ブング・ジャム(著)
あなたはどんな筆箱を使っていますか？
この本は小学生やアイドル、漫画家な 65 人の筆箱やその中身が掲載されています。ペンやボールペン、シャーペン、鉛筆。個性あふれる筆箱に思わず見入ってしまいます。使いやすいボールペンやシャーペンを探してついつい文房具売り場をうろうろしてしまいます。
【589.73】

『毎日読みます』
ファン・ボルム(著)/牧野美加(訳)
日々忙しいわたしたちは、どうすればもっと本を読めるだろうか？または、どんな本を読めばいいのだろうか？
【019.04】

『カフネ』
阿部暁子(著)
家事代行サービス会社「カフネ」のボランティア活動を手伝うことになった、野宮薫子
【913.6】

『応天の門 20』
灰原薬(著)【726.1】

『情報活用のうまい人がやっている3色ボールペンの使い方』
齊藤孝(著)
情報過多なデジタル時代こそアナログが最強 【002.7】

デジタルの時代だからこそ、手書きにこだわる。
齊藤孝さんは、「手書きをすることが大切でたとえスマホで調べても、また手書きで手帳に書き込んでおくとか、メモに書き込む。」とか‥

『文房具図鑑 事務用品』
・その文具のいい所から悪い所まで 最強解説
山本けん太ろう(絵・文)
小学 6 年生が手書きで100ページにわたる「文房具図鑑」を作成しました。
夏休みの自由研究として学校へ提出した図鑑を元に出版されました。2016 年 3 月の初版です。大人になった山本けん太郎さんの文房具図鑑は、更新されているのでしょうか。気になります。【589】

『本を読むのも「めんどくさい」あなたへ。』
鶴田豊和(著)
「行動するのが、めんどくさい」を消す技術/「人間関係がめんどくさい」のメカニズムと対策/感謝を味わう方程式/手放すべきルール、手放してはいけないルール 【159】

『小説』
野﨑まど(著)
五歳で読んだ『走れメロス』をきっかけに、内海集司（うつみしゅうじ）の人生は小説にささげられることになった。
【913.6】